

広報課からのお知らせ



テレビ

テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30

9月 6日 「紀の国わかやま総文2021」の開催に向けて

9月13日 和歌山県立医科大学薬学部

9月20日 わかやま空き家バンク

9月27日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30



ラジオ

和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。



紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会

令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

広報キャラバン隊発足!

「紀の国わかやま文化祭2021」の広報活動をいよいよ本格的に始動!!

お笑いコンビ「すみたに」を中心とするキャラバン隊メンバーと、マスコットキャラクター「きいちゃん」が県内各地をラッピングカーで走り回り、イベントなどで本文化祭のPRを行います!

また、3つのプロジェクトである、きいちゃんを折り鶴で模った「折り鶴プロジェクト」、学校などに出向いて文化体験を行う「出前体験プロジェクト」、県内を公式ポスターで染める「ポスター 2021プロジェクト」も実施しますのでぜひお楽しみに!



問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局
☎073-441-2417 FAX073-423-7120

紀の国文化祭

知事メッセージ

県民の皆様へ

難しい判断



コロナのために世界中が痛めつけられています。今の世の中は相互依存関係の中で成り立っているため、世界中の感染が収まらないと日本も安心できないし、和歌山も安心できません。その安心というのはコロナにかからないというだけではありません。経済も生活もそうで、特に観光の分野への影響は深刻です。コロナの直前までは、近年官民を挙げて再生に努力してきた結果がようやく実り始め、インフラも改善し、ホテルの耐震や改修も進み、県内各観光地の名声も高まり、特に外国の旅行メディアで和歌山No.1という評価が3年連続で続きました。さらにIT誘致、ワーケーション、ロケットとヒットが続いて、数字も上々でありましたが、コロナでガタガタです。

しかし、この騒ぎの中で、我々は段々と分かってきました。先進他国と比べ、日本は感染症法の仕掛けと保健所があるんだから、そちらが頑張っている限り行動・営業自粛に頼りすぎなくてもよい。あまり神経過敏になりすぎると国民生活も、経済も自滅してしまう。特に他への依存度の高い和歌山県はそうだとすることを。

だから、行政の責任者としては、言うのに勇気がいりますが、8月4日現在では、「これからはコロナは必ず出ると思いますが保健医療行政で必死に破局は防ぐので、安全には気を付けながらも少し平常心を持って、仕事に学業に励みましょう」と言うことにしています。

ひょっとしたら、チャンスがあるかもしれないのです。外国人の観光客は当分期待できないが、その消費額は日本人の海外旅行の消費額とほぼ同じ、また、コロナであの岩盤のように強固であった東京一極集中が崩れて、地方にもチャンスがあるかもしれません。とはいえそんなこと言っても、コロナを持ち込まれたらどうするんだという疑念と批判におびえながら、いつも難しい判断に迫られています。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 **80**

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめぐしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。